

平成29年4月 青果部 主要品目の市況

	種類	品名	市況の概要	H29年4月 数量 (トン)	H29年4月 平均単価 (円)	前年同月比 数量	前年同月比 平均単価
1	野菜	大根	千葉県産中心の販売でした。出荷数量は多くなかったですが、販売環境が悪く販売に苦戦しました。軟調な単価の推移となりました。	450	106	79%	95%
2		キャベツ	三浦市産中心の販売でした。昨年は前進出荷が多かったですが、本年は平年並みの出荷でした。4月10日あたりから数量が増加しましたが、高い相場での販売が続きました。	1,137	127	93%	105%
3		トマト	西南暖地は天候に恵まれ着果が良く、特に熊本県産については前年対重量比で115%となり、単価が伸び悩む結果となりました。	365	326	107%	82%
4		レタス	茨城県産中心の販売でした。前半は大玉傾向で傷みが多く、産地からの出荷数量が減少しました。後半は小玉傾向により関東地域の需要が少なく東北などに流れたため、入荷数量が減少しました。	307	210	90%	97%
5		馬鈴薯	長雨、降雨で出遅れた分が入荷増となり数量が伸びました。ようやく平年並みの入荷となり順調な販売となりました。	453	237	147%	88%
6	果実	甘夏	天候による焼けやキズからの傷みも多く、産地出荷が前年の80~90%でした。	82	195	90%	95%
7		ふじ	小玉果が多かったため、単価が前年より2割以上も安くなり金額が伸びませんでした。	412	279	99%	77%
8		いちご	4月の高温により傷みが散見されましたが競合品もなく、数量も着果不良やロスにより減少したため、順調な販売となりました。	208	1,094	88%	123%